



# 令和4年度 二十歳を祝う会

## 令和4年度 祝!成人



### 二十歳の門出 晴れやかに



#### 新人代表による 意見発表



令和4年代表 浅沼 尚士さん

今日は、私たち新成人のためにこのような式典を開催していただき、誠にありがとうございます。町長、ご来賓の皆様、またこの式典に携わっていただきましたすべての皆さま、新成人一同を代表し、心よりお礼申し上げます。

また新型コロナウイルスが流行している、この状況の中で、私たちのためにこの式典を開催していただいたこと、心から感謝申し上げます。

そして何より今日を無事に迎えられたのは、ここまで大切に育ててきてくれた保護者の皆さまのおかげだと思います。この場をお借りして感謝の気持ちを伝えさせていただきます。

今日は、二十歳を祝う会ではありますが、皆さまにとっても大きな節目となる日です。私たちは、ここまでの二十年間でさまざまな人にかかわって、とても多くのことを経験

してきました。そのすべてに感謝し、それを胸にこれからも力強く生きていくことを決意する、今日はそんな日であるとも思っています。感謝は、普段なかなか口には出さず、でも、その気持ちがあればきっと相手には必ず伝わるはずなんです。ですから常日頃から口には出さなくても感謝を忘れたいようにして、いつか欲しいと思います。

さて、この四月一日から成年の年齢が引き下げられ、世の中は十八歳から成年として扱われることになりました。私たちが四月からすでに成人となり扱われていたことになりませんが、まだまだ実感がないのではないのでしょうか。実際にこの式典を通して実感わいてくる人も多くいると思います。

成人になるということはまだまだ未熟ながらも社会からは立派な大人として扱われます。成人、しかも二十歳になるとできることも増え、気持ちにも変化が出てくるのではないのでしょうか。一人の社会人として自由になり、何でも自分でできるようになり、しかし自由には当然な

が責任もついてくることを忘れてはいけません。これからはどんな行動についても自分で責任を取らなければいけないということ、これを常に頭に入れておいてほしいと思います。最後になりますが、現在、仕事に就いている人や進学した人、進路に迷っている人など様々な人がここに居ると思います。おのおのが踏ん張って努力していること、立ちはだかってしまっている人もいるかもしれませんが、今は大丈夫でもこの先大きな壁にぶつかることだってあるかもしれません。

私たちはこれから思う大人としてさらに努力しなければなりません。しかし、皆さんは新型コロナウイルスが流行しているこの時代も含めて二十年間、ずっと努力して生きてきました。このことを自分の中で大きな自信として強く持つて、一人の大人として自由にそしてさまざまなことにさらさらチャレンジし進んでいきましょう。

以上で新成人代表挨拶とさせていただきます。

令和四年七月二十四日  
成人代表 浅沼 尚士